

高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会栃木県大会実施要項

1 目 的

本大会は、国際性豊かな青少年を育てるために、国際語である英語を熟達させるとともに、広くその普及を図り、日本文化の発展ならびに国際親善に寄与することを目的とする。

2 主 催 栃木県教育委員会、栃木県中学校教育研究会英語部会、読売新聞社

3 実施日時等

(1) 期 日 令和7(2025)年9月22日(月)

(2) 会 場 栃木県総合教育センター

(3) 参加資格 県内の中学校、義務教育学校後期課程、中等教育学校前期課程に在籍する生徒で、別添の「高円宮杯第77回全日本中学校英語弁論大会開催要項」の参加資格を満たし、学校長が推薦した者。

(4) 参加人員 1校1名とする。

(5) 審査方法 ビデオ審査(事前収録したスピーチ動画を会場で審査する)

(6) 応募形式等

- ① 参加申込書(別紙)及び弁論原稿をpdfデータに変換し、メールにて提出する。
 - ※ 参加申込書は大会のホームページからダウンロード可能(<https://jnsafund.org/>)
 - ア 参加申込書の推薦状の欄には必ず、学校長名を記入し押印する。
 - イ 原稿は、A4判縦型1枚とする。なお、原稿の右上には学校名及び発表者名を、上部中央には論題をそれぞれ記入する。
- ② 論題 自由
 - ア 生徒自身の意見・主張を英語でまとめた未発表のものとする。
 - イ 剽窃は厳に禁止する。引用は、それと分かる表現により明示する。
 - ウ ア、イに違反した場合は、失格とする。
 - ※ 令和5年7月4日付け、文部科学省初等中等教育局通知「初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン」において、適切ではない使用例として、『各種コンクールの作品やレポート・小論文などについて、生成AIによる生成物をそのまま自己の成果物として応募・提出すること』が挙げられているため、発表内容を作成する際には十分留意する。
- ③ 制限時間 5分
 - 発表は、発表者の第一声あるいは第一動作(お辞儀を含む)のどちらか早いほうから計時し、5分を越えた場合は、減点とする。
- ④ 発表方法
 - ア 発表はマイクを使わずに行う。
 - イ 原稿を見ながら、視覚に訴える道具を使用しながら、また、過度な演出・演技をしながらの発表は行わない。
- ⑤ スピーチ動画の提出は、オンラインドライブへのアップロード又は動画を保存した記録メディアの郵送いずれかの方法とする。(オンラインでの提出方法については別途連絡)

(7) 提出先 〒329-1571 栃木県矢板市片岡2139
栃木県中学校教育研究会英語部会
高円宮杯全日本中学校英語弁論大会栃木県大会事務局(矢板市立片岡中学校)
事務局長 津田 仁志
(TEL:0287-48-0410 FAX:0287-48-3393 E-mail:katachu@city.yaita.tochigi.jp)

(8) 応募締切 令和7(2025)年9月1日(月) 参加申込書および弁論原稿必着(厳守)
9月16日(火) スピーチ動画の提出 必着(厳守)
※締切日後の、参加申込や提出された原稿及び動画の変更等は認めない。

(9) 入 賞 最優秀賞(栃木県教育委員会教育長賞、読売新聞社賞)3名(中央大会へ参加)
優秀賞 若干名

(10) そ の 他 不明な点等がある場合には、下記問い合わせ先に確認すること。

(11) 問い合わせ先 〒320-0822 宇都宮市河原町1-4 読売新聞宇都宮支局 担当 三浦 真
(TEL:028-638-4311)